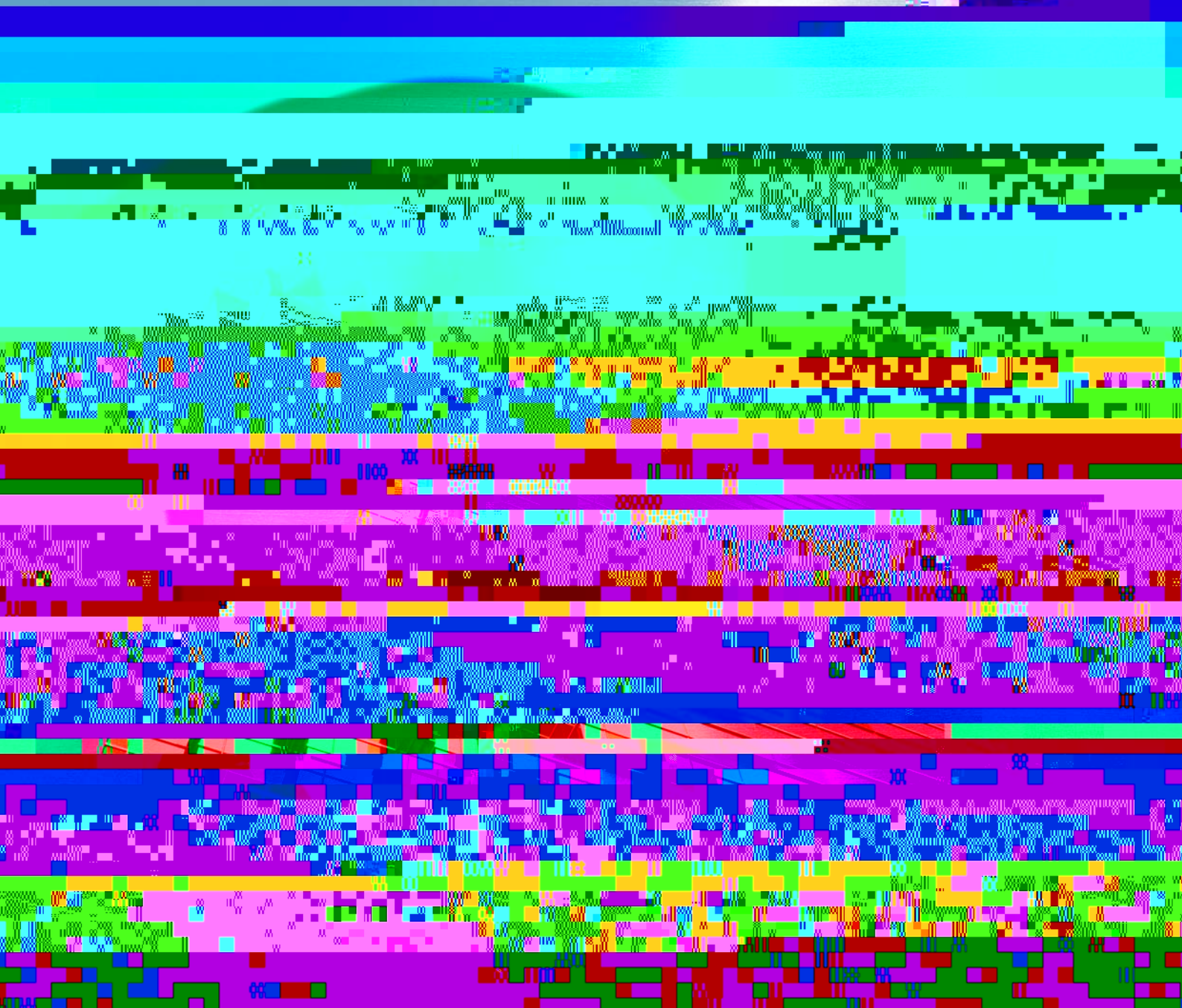




JFE434LN1, JFE434LN2 JFEのステンレス鋼





JFE434LN1
JFE434LN2

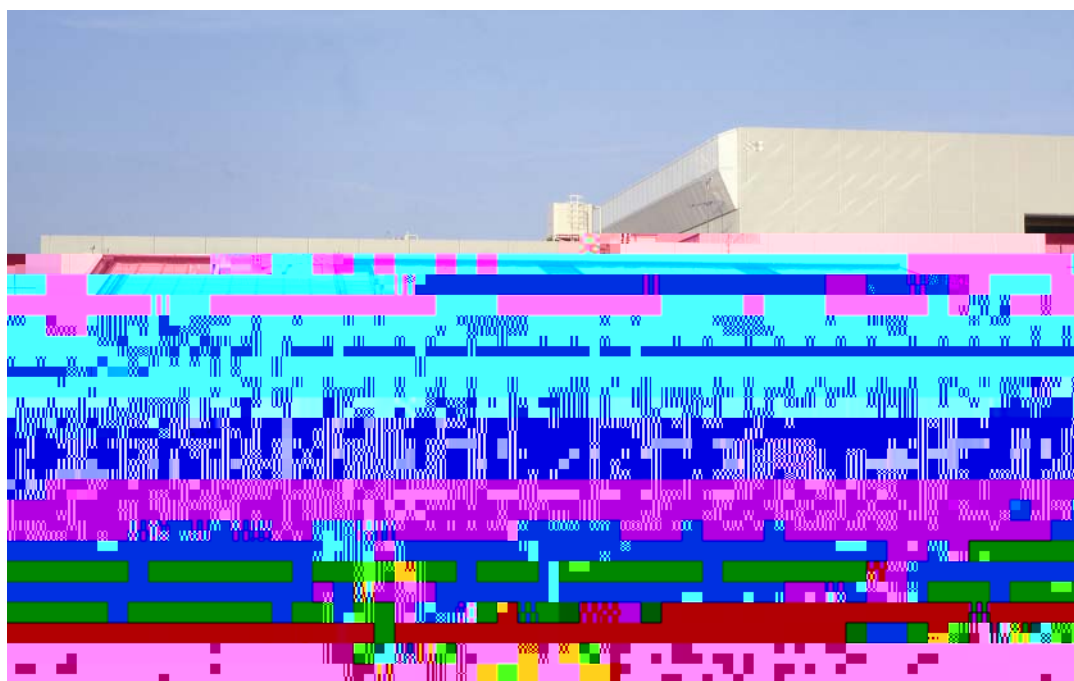
受水槽

目次

製造鋼種/特性と用途	1
1. 特長	2
2. 用途	2
3. 化学成分	2
4. 性質	3
4-1. 機械的性質(代表例)	3
4-2. 成形性(代表例)	3
4-3. 耐食性	3
4-3-1. 耐銹性	3
4-3-2. 耐孔食性	4
4-3-3. 耐隙間腐食性	4
4-3-4. 耐粒界腐食性	5
4-3-5. 耐応力腐食割れ性	5
4-4. 溶接性	5
4-4-1. 溶接条件・溶接部の組織	5
4-4-2. 溶接部の機械的性質	6
4-4-3. 溶接部の曲げ性・エリクセン値	6
4-4-4. 溶接部のじん性	7
4-4-5. シーム溶接部の剥離強度	7
4-4-6. 溶接部の耐食性	8



ソーラーコレクター



1. 特 長

JFE434LN1、JFE434LN2は、高耐食性を有するよう開発されたフェライト系ステンレス鋼で、以下の特長をもっています。

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)

2. 用 途

JFE434LN1、JFE434LN2は、太陽熱温水器、温水ボイラー、電気ポット等の高温水を使用する環境下で、すぐれた特性を持ち、特にオーステナイト系ステンレス鋼で応力腐食割れを起こす恐れのある環境下では、特性が活かされます。

したがって、以下の用途での使用をおすすめします。

るTiNに起因するストリンガーによる表面性状の劣化はありません。

-
-
-
-
-
-

3. 化学成分

太陽熱温水器

鋼 種		C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	Nb/C+N
JFE434LN1	規格値	0.015	1.00	1.00	0.040	0.030	0.60	16.00~19.00	0.75~1.25	8
	代表例	0.004	0.10	0.30	0.035	0.005	0.25	16.50	0.85	24
JFE434LN2	規格値	0.015	1.00	1.00	0.040	0.030	0.60	17.00~20.00	1.75~2.50	8
	代表例	0.004	0.10	0.30	0.035	0.005	0.25	18.00	1.80	30

4. 性質

4-1. 機械的性質(代表例)

(板厚：1.0mm、2B仕上げ、L方向、〔ただし、SUS304のみは、C方向〕)

	0.2%耐力 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	硬さ (Hv5kg)	曲げ性 (曲げ角度180°)
JFE434LN1	314	471	32	156	良好(r=0t)
JFE434LN2	333	500	31	175	良好(r=0t)
SUS430	304	490	31	160	良好(r=1t)
SUS304	255	637	58	160	良好(r=0t)

住宅慧整 爱龍伍季洞鞆井訓 旦璨 支 岑

4-2. 成形性(代表例)

(板厚：1.0mm、2B仕上げ)

		-	△			

鋼種

r値

9.4 1.26

4-3. 耐食性

4-3-1. 耐発錆性

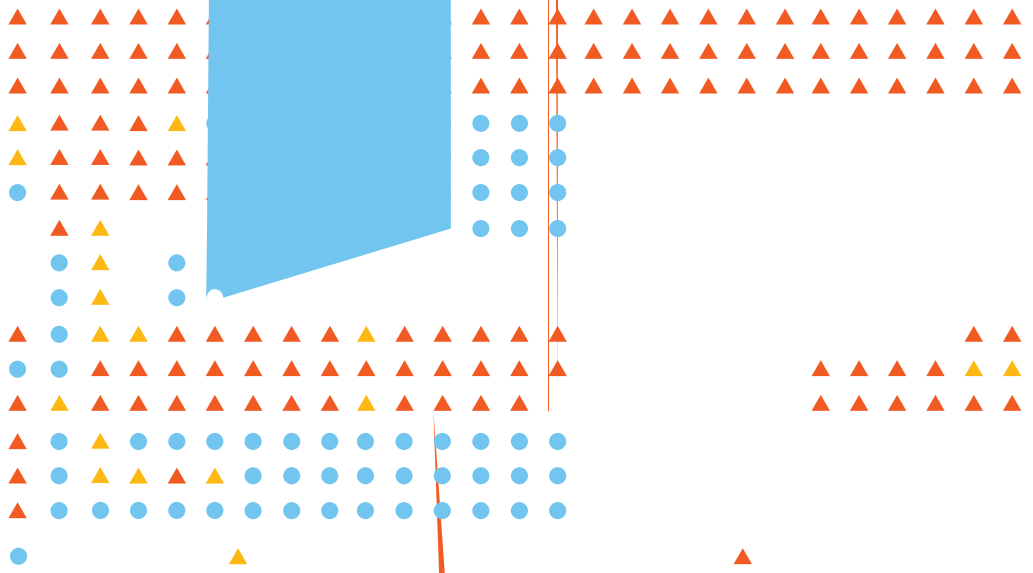
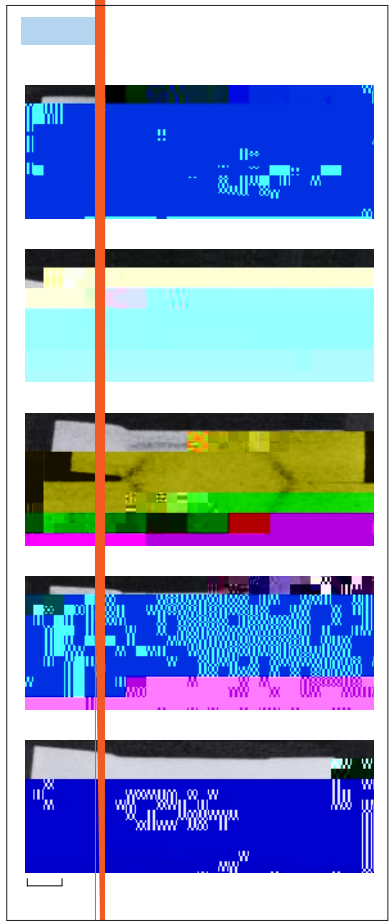
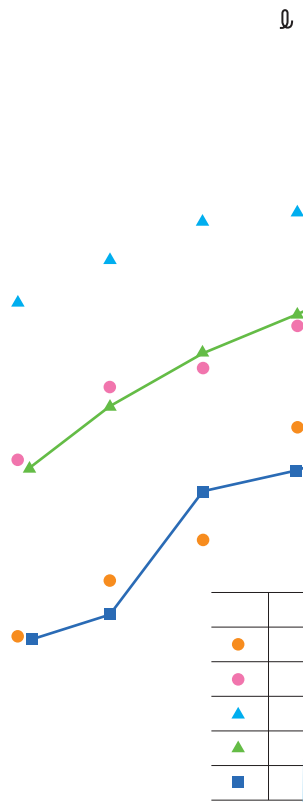
8.8 1.08

9.4 1.10

13.0 1.00

鋼種	項目 試験条件	発錆試験	
		塩水噴霧試験 4時間発錆数/100cm ²	CASS試験 16時間×3サイクル
JFE434LN1		0	わずかに発錆する
JFE434LN2		0	わずかに発錆する
SUS430		0~3	発錆する
SUS304		0	わずかに発錆する
SUS316		0	わずかに発錆する

表に示すように、JFE434LN1、JFE434LN2の耐発錆性はSUS316、SUS304とほぼ同等です。



4-3-4. 耐粒界腐食性

(硫酸、硫酸銅腐食試験結果)

1. 板厚はすべて1.0mm
2. 鋭敏化熱処理条件：1,000 × 10分 Keep → 空冷

鋼種	鋭敏化熱処理後の硫酸、硫酸銅腐食試験結果
JFE434LN1	合格 (割れなし)
JFE434LN2	合格 (割れなし)

4-3-5. 耐応力腐食割れ性

(42%MgCl₂ 腐食試験結果)

鋼種	沸騰42%MgCl ₂ 溶液における破断時間	
	負荷応力 (N/mm ²)	破断時間
JFE434LN1	294	500hで破断せず
JFE434LN2	294	500hで破断せず
SUS304	196	1hで破断
SUS316	196	4hで破断

(単軸引張試験方法)

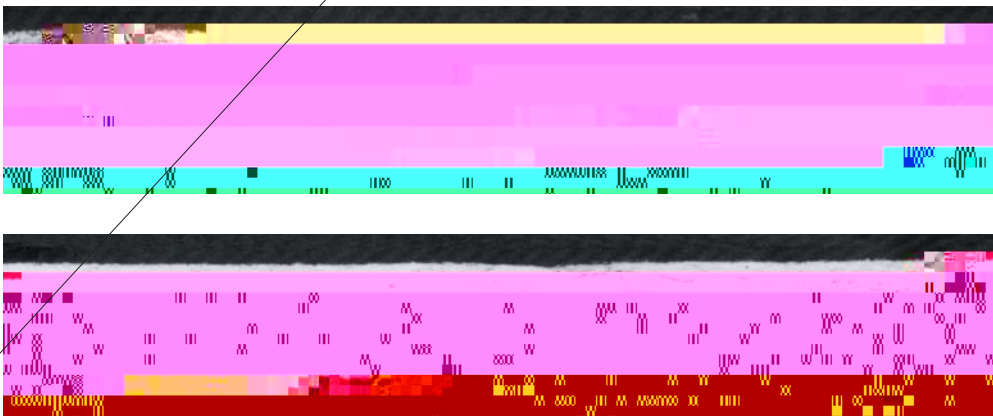
4-4. 溶接性

4-4-1. 溶接条件・溶接部の組織

JFE434LN1、JFE434LN2の溶接施行例および溶接部の組織を下記に示します。

(板厚1.0mmの代表例)

写真3 JFE434LN1、JFE434LN2(板厚1.0mm)溶接部の組織



4-4-2. 溶接部の機械的性質

1. 板厚1.0mmの代表例
2. TIG溶接（ワイヤ使用せず）
3. ()内の数値は母材部の機械的性質

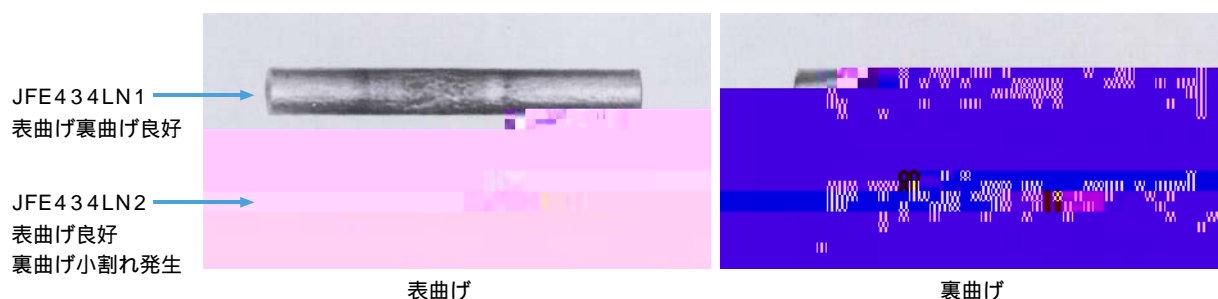
鋼種	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	硬さ (Hv)	破断位置
JFE434LN1	461 (471)	13 (32)	175 (156)	溶接部
JFE434LN2	490 (500)	24 (31)	185 (165)	母材部

4-4-3. 溶接部の曲げ性・エリクセン値

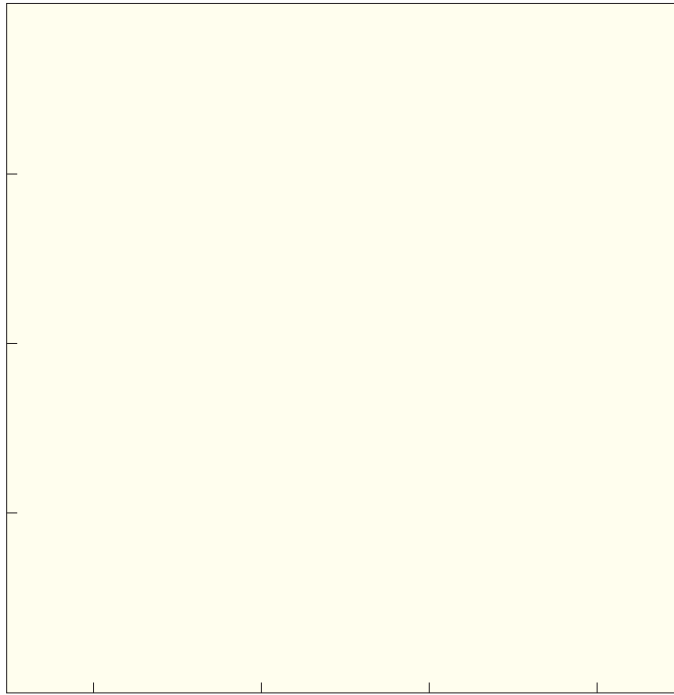
1. 板厚1.0mmの代表例
2. TIG溶接（ワイヤ使用せず）
3. エリクセン値の()内の数値は母材部の値

鋼種	曲げ試験結果（曲げ角度180°、曲げ半径 r = 0.5t）		エリクセン値(mm)
	表曲げ	裏曲げ	
JFE434LN1	良好	良好	9.0 (9.4)
JFE434LN2	良好	小割れ発生	8.8 (8.8)
SUS430	45°で割れ	45°で割れ	3.2 (9.0)
SUS304	良好	良好	—

写真4 JFE434LN1、JFE434LN2溶接部の曲げ試験後の状況
(曲げ角度180°、曲げ半径 r = 0.5t)



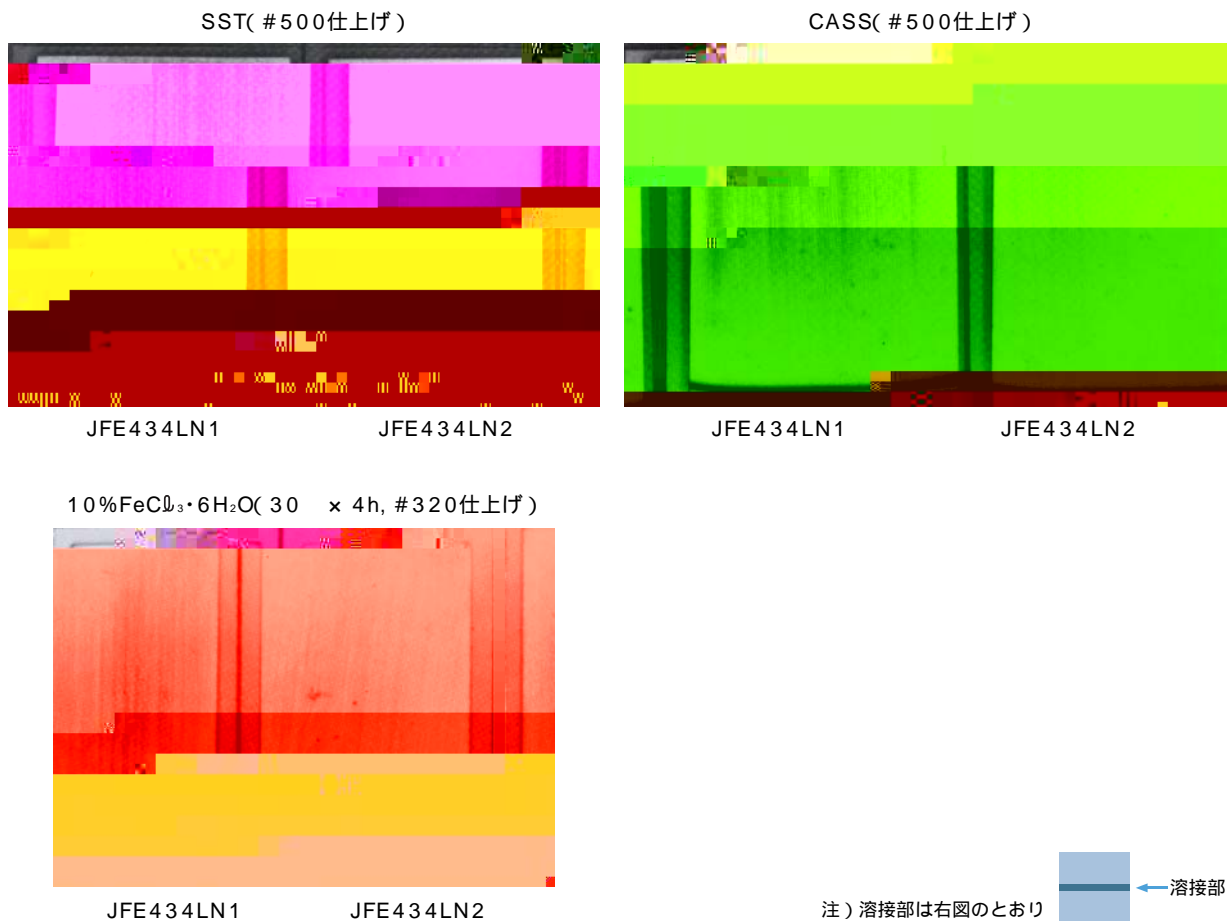
上記の表および写真に示すように、JFE434LN1、JFE434LN2の溶接部の曲げ性、エリクセン値はSUS430に比べ良好です。



4-4-6. 溶接部の耐食性

a). 溶接部の耐錆性 (SST, CASS)、耐孔食性 (10%FeCl₃・6H₂O)

写真5 JFE434LN2 溶接部の耐発錆性 (SST, CASS)



上記写真に示すように、溶接部の耐発錆性、耐孔食性の劣化はみられません。

b). 溶接部の耐粒界腐食性 (硫酸、硫酸銅腐食試験結果)

写真6 JFE434LN1、JFE434LN2の溶接部の硫酸、硫酸銅腐食試験後の外観
(試材の板厚1.0mm、曲げ角度180°、曲げ半径 r = 2t)



ご注文・お問い合わせは、下記または最寄りのJFEスチールまでお寄せください。

東 京	東京都千代田区内幸町2丁目2番3号(日比谷国際ビル)	〒100-0011		
	ステンレス・特殊鋼営業部	TEL.03(3597)4028	FAX.03(3597)4035	
	千葉市中央区川崎町1番地	〒260-0835		
大 阪	東日本製鉄所 商品技術部 ステンレス室	TEL.043(262)2587	FAX.043(262)2980	
	大阪市北区堂島1丁目6番20号(堂島アバンザ)	〒530-8353		
	大阪鋼板営業部 ステンレス・特殊鋼室	TEL.06(6342)0729	FAX.06(6342)0731	
	東日本製鉄所 商品技術部 ステンレス室(大阪駐在)	TEL.06(6342)0740	FAX.06(6342)0734	

JFE スチール 株式会社

530- 353 大阪市北区堂島1丁目 番20号(堂島アバンザ10F)	0 (342)0_0_7	、	0 (342)0_0
〒451- 01 名古屋市西区牛島町 番1号(名古屋ルーセントタワー1 F)	052(5 1) 12	、	052(5 1)33_7
〒0 0-0005 札幌市中央区北五条西2丁目5番	011(251)2551	、	011(251)_730
〒 0-0 11	022(221)1 1	、	022(221)1 5
〒 50-00 _7	025(241) 111	、	025(241)_743
〒 30-0004	0_7 (441)205	、	0_7 (441)205
〒_80-003	0 2(245) _00	、	0 2(245) 11
〒_7 0-001	0 _7 22)5100	、	0 _7 22)5105
〒 12-0025	0 2(2 3)1 51	、	0 2(2 3)1 5
〒2 0-002	043(23) 001	、	043(23) 00
〒231-0011	045(212) 0	、	045(212) _8
〒422- 0 1	054(2) 10	、	054(2) _77
〒_00-0 21	0 (224)12 1	、	0 (224)12 5
〒 00-0015	0 () 2 5	、	0 ()545

